

～高機能膜の開発と実用化の最前線！～

第33回ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム 2016

会期：2016年10月26日(水)～10月28日(金) 会場：東京ビッグサイト・会議棟(東京都・江東区・有明)
 主催：日本膜学会 一般社団法人日本能率協会 同時開催：スマートエンジニアリング TOKYO 2016

(敬称略)

		プログラム	
10月26日(水)	10:00 ～ 13:00	セッション 1 RO法の高性能化・省エネルギーの最前線	
		1.RO膜高性能化の最前線 2.RO膜法における造水コスト低減への取り組み 3.洗浄と補修によるRO膜の性能回復 4.RO法海水淡水化用エネルギー回収システム「DeROs」	東レ 木村 将弘 日東電工 越前 将 栗田工業 川勝 孝博 電業社機械製作所 武田 裕久
10月27日(木)	14:00 ～ 17:00	セッション 2 膜ろ過浄水技術 ～運転実績と将来像～	
		1.膜ろ過施設導入ガイドラインの策定～J-Step 共同研究の成果から 2.水位差利用による省エネ型膜ろ過水道システム 3.西空知広域水道企業団・西空知浄水場 17年間の運用実績 4.セラミック膜ろ過技術を用いた小規模浄水供給システム	水道技術研究センター 安積 良晃 膜分離技術振興協会 鮫島 正一 オルガノ(株) 村田 周和 メタウォーター(株) 山家 勝裕
10月27日(木)	10:00 ～ 13:00	セッション 3 省エネ型 MBR の開発動向	
		1.新規高集積型 MBR モジュールにおける省エネ化 2.改良型 PTFE 製中空糸膜モジュールによる浸漬型 MBR の省エネ化 3.高性能浸漬型平膜モジュールによる MBR の省エネルギー化 4.オゾン水洗浄の適用による MBR の省エネ化	三菱レイヨン 古野 真介 前澤工業 石川 進 ダイセン・メンブレン・システムズ 中村 ジョン 三菱電機 安永 望
10月28日(金)	14:00 ～ 17:00	セッション 4 MBR の応用技術 ～水再利用システムの最新動向～	
		1.TMP および TMP ジャンプ予測モデルを利用した MBR 運転監視と制御 2.産業排水処理における ZLD(Zero Liquid Discharge)技術の適用事例 3.米国における再生水直接飲料化の動向	東京大学大学院 船津 公人 三菱レイヨン 竹内 雅人 長崎大学大学院 藤岡 貴浩
10月28日(金)	10:00 ～ 13:00	セッション 5 多様化する CO₂ 分離膜	
		1.天然ガス中の CO ₂ 分離に対するゼオライト膜の適用 2.選択的気体吸着を示す多孔性金属錯体(MOF)の構造設計と応用展開 3.カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所の取組みと CO ₂ 分離膜研究について 4.反応性イオン液体ゲル膜による CO ₂ 分離	日揮 藤村 靖 名古屋大学大学院 松田 亮太郎 九州大学 谷口 育雄 神戸大学大学院 松山 秀人
10月28日(金)	14:00 ～ 17:00	セッション 6 高性能水素分離膜 ～水素社会の実現に向けて～	
		1.RITEにおける水素分離膜の開発と産業化に向けた取り組み 2.細孔充填型 PdAg 水素透過膜の開発 3.熱化学水素製造 IS プロセス用水素透過セラミック膜の進展 4.無機膜用セラミックス支持体の開発	地球環境産業技術研究機構 西田 亮一 日本特殊陶業 梶谷 昌弘 芝浦工業大学 野村 幹弘 ノリタケカンパニーリミテド 江田 智一

参加料(消費税別)

参加者区分	参加区分	セッション別(半日)	日別(1日)	全セッション(3日間)
日本膜学会 会員				
日本能率協会 法人会員		18,000 円	35,000 円	95,000 円
同時開催展示会出展会社				
協賛団体会員		19,000 円	37,000 円	101,000 円
官公庁・大学		5,000 円	9,000 円	25,000 円
上記外		20,000 円	39,000 円	106,000 円

テキスト合本販売(税別)	
シンポジウム参加者 21,000 円	各セッションのテキストを一冊にまとめたテキスト合本を特別価格で販売します。
参加者以外(※) 42,000 円	

詳細情報・お申込み方法はホームページをご覧ください

<https://school.jma.or.jp/membrane/>